



新春の芽ぶき

小野町長 穴戸 良三

新年あけましておめでとうございます。

平成23年の年頭にあたり、謹んで新春のご祝詞を申し上げます。町民の皆さまには、ますます幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

一年の始めである正月は春の始まり、世界中の人々が、春の訪れがもたらす生命の誕生を心から喜びました。「めでたい(芽出度い)」という言葉は「新しい春を迎え芽が出る」という意味があるそうです。皆さまの元にも、今年、新たな「芽」が発芽し、大きく育っていくことを願っております。

さて、昨年11月末には、「おのまち町民の翼―町長と行く韓国の旅―」を実施いたしました。参加者は、私と随伴職員を入れ20人。どなたもお互いに気心の知れた方々で、和気あいあいのうちに、朝鮮半島情勢も懸念されたところでしたが、全員無事に帰国いたしました。来年度以降においても、各方面にご意見をうかがいながら、実施してまいりたいと思います。また、11月3日には丘灯至夫記念館が、丘先生のご家族の多大なご協力により寄贈いただいた資料などを収蔵し、リニューアルオープンしたほか、丘灯至夫記念館リニューアルオープンの記念行事として、「丘灯至夫メモリアルコンサート」を開催しました。当日は、町内の芸術文化団体が多数出演したことに加え、丘ノブヨ夫人、二代目コロムビア・ローズさんなど、丘先生ゆかりの方々に出演いただき、盛会のうちに実施できました。改めてお礼申し上げます。

さて、新年早々今月の15日から、ふるさと文化の館美術館において、小泉武夫先生ご執筆により福島民報紙連載の「夕焼け小焼けで陽が昇る」の挿絵を描かれておいで酒井昌之先生の原画展を開催いたします。また、初日の15日には、両先生のトークショーも開催となります。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場賜りますようお願い申し上げます。

町政に目を向けますと、念願でありました「町内全域に光ファイバを」と事業を進めてまいりました。飯豊局管内地域情報通信基盤整備工事も、1月をもって竣工し、2月1日よりサービスを開始することとなりました。これからは、高速通信の恩恵を享受できることとなりますので、大いに利活用いただくようお願いいたします。

教育環境の整備事業であります。小野新町小学校校舎を除く各小学校においては、耐震補強工事も竣工し、安全な環境で学習できるようになりました。引き続き、小野新町小学校も間もなく竣工をいたします。小野中学校においては、12月18日に新校舎への引っ越しも終わり、普通教室の仮使用が始まりました。しかしながら、建設業者の事情により小野新町小学校、小野中学校関連の工事が現在予定通りの進捗よく状況ではありません。今後とも、全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びになりますが、平成23年も、第四次小野町振興計画に基づき、町の将来像の「きらめく人と自然あつたか小野町」に向かって、基本目標の「すこやか」「はぐくみ」「げんき」「さわやか」「あんしん」の五つの目標を着実に、具体的に実現してまいります。そして、皆さま一人一人が、「住みたい町」「住んで良かった町」を実感できる町づくりを進めたいと考えておりますので、どうぞ本年も、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。